

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：斉藤 親

事業名	たていせん なんごう 建石線(南郷工区)		事業区分	街路事業	事業主体	兵庫県
起終点	ひょうごけんにしのみやしかがらちょう 自：兵庫県西宮市神楽町 ひょうごけんにしのみやしなんごうちょう 至：兵庫県西宮市南郷町		延長	0.8 km		
事業概要	本路線は西宮市中心市街地と北部市街地を結ぶ南北主要幹線道路であり、本事業は、国道2号以北でJR東海道本線との立体交差を含む797mの区間を4車線拡幅整備するものであり、沿道は阪神淡路大震災により被災を受けたため、震災復興事業として平成7年3月より整備を進めている。					
H6年度事業化	S21年度都市計画決定 (S39年度変更)	H6年度用地着手	H11年度工事着手			
全体事業費	136億円	事業進捗率	81%	供用済延長	0.6 km	
計画交通量	15,400台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 25/110億円 (事業費：24/109億円 維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 221/221億円 (走行時間短縮便益：213/213億円 走行費用減少便益：5/5億円 交通事故減少便益：3/3億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	円滑なモビリティの確保(旅行速度の改善) 無電柱化による美しい町並みの形成(電線類地中化5ヵ年計画の位置づけあり) 災害への備え(緊急輸送路としての代替路線を形成) 他4項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	西宮市から震災復興事業として実施している当路線について、早期完成の要望がある。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	地域住民が主体となって沿道の「まちかど広場」の計画づくり参画する等、地域の復興とともに地域と一体となって整備を進めている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収は99%完了しており、現在、道路改良工事及びJR交差部の跨道橋工事を進めている。 既に約0.6kmを部分供用しており平成19年度に全線供用予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業着手後、JR東海道本線との交差点でJR西日本が新駅設置構想を発表したことから、地元との工事調整等に日時を要したが、現在は地元了解を得て鋭意跨道橋工事を進めている。					
施設の構造や工法の変更等						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性及び重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。